

施策評価シート

評価年度	令和元年度	事業実施年度	平成30年度	施策主管次長名	都市建設次長 小嶋 誠		
施策番号	52	施策名	地域の特性を活かし、調和のとれたまち			総合計画掲載頁	22
関係課名	都市計画課、公園緑地課、道路河川課						

1. 施策の概要

施策の目的	対 象	対象指標名		単位	H29実績	H30計画	H30実績	H31計画	総計目標
		・土地利用別面積 ・市民	市街化区域面積	ha	1,057	1,077	1,077	1,087	-
			市街化調整区域面積	ha	2,162	2,142	2,142	2,132	-
			人口	人	61,070	61,356	61,153	61,604	-
	意 図	土地の有効活用と地域の均衡ある発展を図る		成果指標名	市域に占める住居系用途面積割合 市域に占める農用地面積割合 市域に占める地域森林計画対象森林面積割合 市域に占める地籍調査済み等の面積割合				

2. 成果指標

指標	成果指標名	単位	H29計画	H29実績	H30計画	H30実績	H31計画	総計目標
	市域に占める住居系用途面積割合	%	19.3	19.3	19.8	19.8	19.8	19.3
	指標設定の考え方と把握方法 良好な住環境の確保指標として市街化区域内住居系用途の面積を把握							
指標	成果指標名	単位	H29計画	H29実績	H30計画	H30実績	H31計画	総計目標
	市域に占める農用地面積割合	%	20.3	20.2	20.2	20.3	20.1	-
	指標設定の考え方と把握方法 調和のとれた土地利用の指標として農振農用地面積を担当課から把握							
指標	成果指標名	単位	H29計画	H29実績	H30計画	H30実績	H31計画	総計目標
	市域に占める地域森林計画対象森林面積割合	%	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	-
	指標設定の考え方と把握方法 調和のとれた土地利用の指標として地域森林計画対象森林面積を担当課から把握							
指標	成果指標名	単位	H29計画	H29実績	H30計画	H30実績	H31計画	総計目標
	市域に占める地籍調査済み等の面積割合	%	78.0	76.7	77.3	77.3	78.4	80.0
	指標設定の考え方と把握方法 街づくりの基礎資源として地籍調査済み等の面積を担当課より把握							

3. 施策の評価

項目		評価のコメント				
施策の成果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民	・土地は限られた資源として認識し、土地利用計画に基づき周辺環境との調和を図りつつ効果的・効率的な利用に努める。				
	行政	・地域の特色ある土地利用計画を尊重し、実施に向けた支援と法手続きを行う。				
達成度評価	近隣との比較	本市の市街化区域面積の割合は33.4%で、面積規模や地形、立地条件により単純比較はできないが、豊明市は30.2%、日進市は31.3%であり近隣市より土地の有効利用が進展している。(愛知県統計年鑑より)				
	過去3年間の実績との比較	「農振農用地面積」については、平成30年度に根拠面積を農家基本台帳面積から地籍調査面積の集計に代わったことにより、前年比微増となっている。また地籍調査は、平成28年度から平成30年度の3年間で66ha増加し、面積割合では77.3%となっており着実に進捗している。				
現状と課題		成果指標「住宅系用途面積割合」は目標値を超えており、良好な住環境及び土地利用が図られている。「地籍調査済み面積割合」は、ほぼ目標どおりで、「農用地面積」は減少、「森林面積」は横ばい傾向になっている。				
課題を踏まえた今後の取組の方向性		(今後の取組の方向性) 「まちづくり土地利用条例」及び「まちづくり基本計画」により適正な開発誘導を行い、秩序ある土地利用を図る。 自然環境の保全と共生を前提とした、効率的な土地利用を図る。 土地利用計画における、あらゆる権利関係を明確にするための基礎資料となる、地籍調査事業を計画的に進める。				
市民意識	重要度	高い	満足度	低い	平成30年度市民アンケート調査による	